

「下地島空港活性化協議会」を開催しました
～ 今年度開業以来過去最高の利用者数 40 万人超を見込む～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)^(※1)は2月9日(金)に第15回「下地島空港活性化協議会」を開催しましたので、お知らせします。

【第15回 下地島空港活性化協議会】における主な報告・協議事項】**① 下地島空港の現況**

- ・ 2023年度11月以降の利用者数は冬期閑散期の影響で前年並み若しくはそれを下回っているものの、夏場好調に推移したことから、通年では開業以来過去最高の40万人超を見込む。
- ・ 昨年に引き続き、今年もスカイマーク福岡直行便運航が決定(7月1日～8月31日の間、1日1往復)。
- ・ 国内線・国際線の増便・再開・新規就航に向けた更なる営業活動を推進。

② 羽田発着枠政策コンテスト関連

- ・ セルフモニタリングとして実施している空港利用者アンケート(冬季分)の結果報告。
- ・ 東京のみならず北海道から福岡まで全国各地で実施した宮古島プロモーションイベントの報告・振り返り。
- ・ 冬季閑散期の集客施策のひとつであるスポーツ誘致について、最新の状況や取り組みを確認。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

第15回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市の座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「今年度の宮古圏域への観光入域客数は、コロナ影響が薄れ、観光を取り巻く環境の改善が見られることから、コロナ前に匹敵する数を見込んでいる。下地島空港の利用者数も昨年度に比べ増加傾向にある状況だが、間違いなく宮古圏域への入域客数増の一翼を担う存在となっている。今年度同様、来年度も夏期にスカイマークの下地島と福岡直行便が運航されるなど、非常に良いニュースもあることから、引き続き官民一体となり、宮古圏域そして下地島空港を盛り上げるべく取り組んで参りたい。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社より下地島空港利用状況について報告がありました。

- ・ 2023年冬期スケジュールの運航状況
- ・ 利用者数推移
- ・ 各路線の状況
- ・ 航空貨物取扱状況
- ・ 2024年夏期スケジュールの運航計画
- ・ 国内線利用促進に向けた取り組み

続いて、協議会メンバーにて以下内容が行われました。

- ・ 下地島空港の活性化に向けた航空路線の維持・拡大に関する施策についての意見交換。
- ・ 今年度のプロモーション活動内容の確認及び、来年度計画立案に向けた協議。
- ・ 冬の閑散期におけるスポーツ団体の誘致、スポーツイベントの計画についての取り組みの確認。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

【第15回下地島空港活性化協議会の様子】



■ 第15回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2024年2月9日(金)10:00~11:30

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： 「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

長濱 為一 沖縄県宮古事務所 所長(協議会事務局)

根路銘 康文 宮古島商工会議所 会頭

平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事

佐藤 渉 下地島エアポートマネジメント株式会社 常務取締役